

## 船舶事故調査報告書

平成22年2月25日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年10月26日12時06分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（大分県大分市関埼灯台から真方位335°4,300m付近（概位北緯33°18.2′ 東経131°52.9′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年12月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二 <sup>えびす</sup> 恵比須丸、4.99トン YG3-42841（漁船登録番号）、個人所有 10.37m(Lr)×2.75m×0.80m、FRP ディーゼル機関、48kW（漁船法馬力数）、昭和53年9月18日
乗組員等に関する情報	船長 男性 48歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和62年11月18日 免許証交付日 平成19年7月18日 (平成24年11月17日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年10月24日16時00分ごろ、船長1人が乗り組み、底びき網漁の目的で、山口県防府市向島漁港を出港した。帰港予定の26日03時ごろになっても帰ってこないことから、海上保安庁や僚船が搜索していたところ、26日12時06分ごろ関埼灯台から真方位335°4,300m付近において本船が無人で発見され、29日11時42分ごろ大分空港東方沖約9海里付近で、うつ伏せの状態で見えている船長が発見された。 船長は、巡視船により搬送され、のち死亡が確認された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 1、視界 良好 海象：波 なし、水温 約18℃
その他の事項	機関の操縦レバーが前進状態で、底びき網漁具が海中に入っていた。2本ある漁具のえい航ロープの1本が外れていた。 船の外舷には衝突した痕跡は認められなかった。 船長は救命胴衣を着用していなかった。 操業海域は、瀬戸内海西部で徳山航路1号灯浮標から南方にかけて四国佐田岬北方までであった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 死因は溺死であった。 本船は、大分県国東半島東方沖において底びき網漁に従事中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられる。 船長は、操業中、落水したものと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、国東半島東方沖において底びき網漁に従事中、1人で乗り組んでいた船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	